

トピックス

商工中金の転換に係る 説明会



本会は2月19日午後1時30分より、千葉市のホテルポルトプラザちばにおいて、125名の参加者を得て商工中金の株式会社化に伴う説明会を開催した。

はじめに坂戸誠一会長が「商工中金は組合のパートナーであり、いままでと全く変わらないので組合や中小企業の皆様にはご安心いただきたい」と主催者挨拶をし、説明会に入った。

説明会では、商工中金理事の伊藤学氏より「商工中金の株式化（転換）

の詳細について」説明があり、新商工中金法の概要から、転換時期、手続き、特別準備金の額、株式売買の仕組みなど個別的事項についての説明がなされた。その後、商工中金千葉支店長の中谷肇氏より、「株式会社化に関する手続きについて」補足説明があった。

説明会終了後は、商工中金の担当者が相談員となり個別相談会が開催された。

情報連絡員会議

本会は2月15日千葉市のホテルグリーンタワー千葉において情報連絡員会議を開催した。

はじめに情報連絡員の集計結果報告と情報交換が行われ、続いて三井生命(株)事業法人業務部法人ソリューション第一グループの森啓樹氏が「事業承継の現状と対策」の講演を行った。

商業4団体新春講演会

商業4団体（千葉県商店街振興組合連合会理事長 大野隆紹・千葉県商業専門店協同組合連合会長 土屋利夫・千葉県商店街連合

会会長 渡辺祥・千葉県共同店舗協議会会長 寺林幹雄）の新春合同講演会が2月14日、千葉市内の京成ホテルミラマールにおいて開催された。当日は①千葉商科大学伊藤公一教授の「地域商業者と大型店との今後の連携・協働のあり方」と題する基調講演②「県内の地域商業者の現状と地域貢献の取り組みについて」と題するパネルディスカッション③新春賀詞交歓会が行われた。

2008異業種交流・産学連携フォーラム関東in千葉

本会は2月8日千葉市内のホテルグリーンタワー千葉において、(独) 中小企業整備機構関東支部、全国異業種交流協議会関東ブロック協議会との3団体主催、(財) 中小企業異業種交流財団、千葉県中小企業団体レディース中央会、(独) 雇用・能力開発機構千葉センターとの共催で「2008異業種交流・産学連携フォーラム関東in千葉」と「ビジネスマッチングフォーラムin千葉」を同時開催した。

これは中小企業が新たなビジネスチャンスの創出を図るため、異

なる分野で強みを持つ他の企業やグループ、大学、支援機関との交流・連携活動を通じて、新たな技術・製品・サービス等の開発を促進し、市場開拓に取り組みためより広範な出会いを実現し、都道府県の枠を超えた交流連携を図り、併せて参加企業による新たなコラボレーション、ビジネス連携を推進するため開催されたもの。

開会式で挨拶に立った坂戸誠一会長は、「異業種交流グループが取り組む製品・技術開発の成功要因としてグループ外の組織や大学・高専・研究機関等との連携が重要であり、一人でも多くのネットワークを築いて積極的な事業活動を展開して頂きたい」と述べた。

フォーラムの主な内容は(株)サンリット産業取締役社長小池俊二氏の「地域中小企業の発展に向けた産学官連携」と題する基調講演があり、その後県内にキャンパスを有する8つの大学・高専（東京電機大学・東邦大学理学部・日本大学理工学部・東京理科大学・千葉大学工学部・千葉工業大学・千葉商科大学・木更津工業高等専門学校）によるシーズ発表があった。

これと同時に並行的に県内で産学

官連携に取り組む企業4社（(株)テクノカルブレインズ・住環境テクノロジージャパン(株)・(有)COVE RS・NU、(株)マイクロテック・ニチオン）のビジネスプラン発表会とインキュベーション施設5箇所説明会が行われた。またテーブルマッチング相談会、ブース展示会等も行われ、企業、大学、関係機関等の担当者が参加者の相談に応じていた。

その後の全体ビジネス交流会では情報交換と懇親が行われ、参加者総数約320名という県内の工業関係では最大規模のフォーラムは盛況のうちに幕を閉じた。

